

第8回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 議事概要

1. 開催日時：令和6年9月6日（金）13:00～13:30

2. 開催場所：福井県庁 6階 大会議室

3. 出席者：福井県 土木部長 田中 克直
土木部理事 平林 透
道路建設課長 砂村 秀成
高規格道路課長 小川 裕樹

近畿地方整備局

道路部長 田中 倫英
福井河川国道事務所長 野村 文彦

4. 議 事：

○大野油坂道路事業の進捗状況等について確認した。

（事業進捗状況）

- ・ 国より九頭竜・油坂区間の新子馬巣谷橋（仮称）において発生している工事課題について、有識者検討会を設置し、今後の対応について検討した結果の報告があった。
- ・ 有識者への相談内容と意見は、以下のとおり。
 - 下部工事については、周辺削孔してもケーソンの沈下が進まないこと（2.4cm→10.2cm）や法面の亀裂が発生しており、この課題に加えて、新たに竣工済のA1橋台が6cm沈下している状況で、これら周辺の状況は日々変化していることを相談し、有識者からは、地盤が動いている可能性もあり、安全施工の観点等から、詳細調査を行い、隣接する法面の変状範囲を確認した上で対策を検討すべきとの意見をいただいた。
 - また、上部工事については、上部工を架設するための設備等を設置する地盤に地すべりを引き起こす可能性がある破碎帯が発見されたことを相談し、当該地層を支持層とする現設計の見直しが必要との意見をいただいた。
- ・ このような対応が必要になったことから、令和8年春開通予定としていた開通時期の見直しが必要となり、見直し後の開通時期については、今後の工事進捗状況や追加調査・設計見直しの状況を踏まえて工程精査し、改めてお知らせすることの報告があった。
- ・ また、現在掘削中の大谷トンネルについては、想定以上の湧水が発生し施工が難航している状況の報告があり、今後のリスク工事として、新林谷橋や新多母谷橋、道場切橋、新下半原トンネルについて説明があった。

（事業費等監理）

- ・ 開通時期や設計の見直し等に伴い、事業費についても精査が必要であり、精査完了後、速やかに結果を共有することの報告があった。

○福井県から以下の要請があった。

- ・ 工程精査や事業費精査の結果については、すみやかな共有をお願いしたい。
- ・ 複数の工事課題が発生している状況ではあるが、工事の安全確保を前提に、県内全線開通を一日も早く実現していただきたい。

以 上